

1. 事業経過

調査および高齢者向けのDVD、パンフレット等の作成について、下記の通り全体検討会、事前研修会、事例検討会等を開催してきた。

(1) 事前研修会

「農作業事故調査の対面調査」を実施するに当たり、調査における留意点、調査のポイントなどについて、調査を実際担当する各地の責任者等に参加していただき、事前研修会を開催した。

①開催日時 平成26年6月11日(水) 11:00～14:00

②開催場所 JAビル27階 「全国厚生連会議室」

③次第

・挨拶

日本農村医学会副理事長 立身 政信

農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室課長補佐 齊賀 大昌

・平成25年度 調査結果概要報告

・平成26年度 「農作業事故の対面調査」実施に当たって

<資料1>

・農作業事故対面調査、事前研修会

・平成26年度、対面調査の重点について

・事務処理についての留意点

<資料2>

安全な農作業、豊かな農業

<資料3>

1. 農作業事故の実態から農作業安全を考える
2. 農作業事故の対面調査から
3. 日本における労働安全衛生法・労働安全衛生規則と農作業事故
4. 草刈機の事故事例
5. トラクターの事故事例
6. 耕耘機の事故事例
7. コンバインの事故事例
8. 田植え機の事故様態分析
9. 用手具の科学がない！！
10. 不幸にして農作業事故に遭ったら

平成26年度「農作業事故の対面調査」
事前研修会出席者名簿

日時:平成26年6月11日(水)11:00-14:00
場所:JAビル27階「全国厚生連会議室」

団体名	部署	役職	氏名
日本農村医学会	(岩手大学教授・ 保健管理センター長)	副理事長	立身政信
全国農業機械士協議会		会長	伊藤一栄
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター	基礎技術研究部 安全人間工学研究	主任研究員	志藤博克
日本農村医学会	(富山県農村医学研究会 主任研究員)	評議員	大浦栄次
日本農村医学会	(日本農村医学研究所 客員研究員)	評議員	浅沼信治
日本農業機械化協会		指導部長	森田豊
農林水産省	生産局農産部技術普及課 生産資材対策室	課長補佐	齊賀大昌
農林水産省	生産局農産部技術普及課 生産資材対策室	係長	江頭知穂
北海道農作業安全運動推進本部		事務局長	舘山則義
岩手大学	農学部農学生命課程	教授	武田純一
福島県農業協同組合中央会	農業対策部農業振興課	副調査役	渡邊範之
栃木県農業機械士会		副会長	綱川欣典
栃木県農業機械士会		幹事	国安武
栃木県農業機械士会		幹事	青柳孝男
千葉県	農林水産部 生産振興課農産班	班長	野村徳明
千葉県農業機械士協議会		会長	小川雅器
日本農村医学研究所		主任研究員	柳澤和也
JA えちご上越	営農生活部 農業経営サポートセンター		清水薫
富山県農村医学研究会	(富山県厚生連 健康管理センター)	研究員	吉田稔
滋賀医科大学	社会医学講座衛生学	助教	辻村裕次
兵庫県農業機械化協会		主事	岸本美樹
広島県農業協同組合中央会	農政営農部担い手支援課	調査役	東田にんな
日本農村医学会		事務局長	常松敦子

(2) 第1回全体検討会

6月11日開催の事前研修会に引き続き、全体検討会を行った。この会で平成26年度事業の全体的事業のすすめか方について検討した。

①開催日時 平成26年6月11日(水) 14:00～16:00

②開催場所 JAビル27階 「全国厚生連役員応接室」

③次第

(1) 挨拶

日本農村医学会名誉理事長 藤原 秀臣

農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室課長補佐 齊賀 大昌

(2) 全体の調査の流れ

・「農作業事故の対面調査」

・高齢者向けの資料の作成

(DVD、パンフレットなど)

*主な機種別事故様態、用具・手具の事故の実態に基づく対策

*作業内容が異なるが、同様の事故原因と考えられる事故の実態に基づく対策

(横断的な事故様態毎に)

・用具、手具の改善提案

*用具、手具に限らず、本調査で得られた改善すべき点、また各地で取り
組まれている改善内容もまとめる

・高齢者の認知・判断・操作のテストの現況調査

(3) 全体討論

平成26年度「農作業事故の対面調査」
全体検討会出席者名簿

日時:平成26年6月11日(水)14:00-16:00
場所:JAビル27階「全国厚生連役員応接室」

	所 属	氏 名
全体検討委員	日本農村医学会名誉理事長・総合病院土浦協同病院名誉院長	藤 原 秀 臣
〃	日本農村医学会副理事長・岩手大学教授・保健管理センター長	立 身 政 信
〃	全国農業機械士協議会会長	伊 藤 一 栄
〃	(独)農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター基礎技術研究部安全人間工学研究主任研究員	志 藤 博 克
〃	日本農村医学会評議員・富山県農村医学研究所主任研究員	大 浦 栄 次
〃	日本農村医学会評議員・日本農村医学研究所客員研究員	浅 沼 信 治
〃(代理)	日本農業機械化協会指導部長	森 田 豊
〃(代理)	滋賀医科大学 社会医学講座衛生学 助教	辻 村 裕 次
所管省	農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室課長補佐	齊 賀 大 昌
〃	農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室係長	江 頭 知 穂
オブザーバー	北海道農作業安全運動推進本部事務局長	舘 山 則 義
〃	岩手大学農学部農学生命課程教授	武 田 純 一
〃	千葉県農林水産部生産振興課農産班班長	野 村 徳 明
〃	日本農村医学研究所主任研究員	柳 澤 和 也
〃	JAえちご上越営農生活部農業経営サポートセンター	清 水 薫
〃	富山県農村医学研究会研究員	吉 田 稔

(欠席) 松本訓正(日本農業機械化協会専務理事)

埜田和史(日本農村医学会評議員・滋賀医科大学准教授)

(3) 事例検討会・第2回全体検討会

調査終了時に各地域の事例について、個別報告を求め、各事例について各参加者からの質問および意見交換をし、事故要因や対策について、多方面から検討した。

なお、事例検討会の後、出席者全員、全体検討会に出席し今後の課題、まとめについて意見交換をおこなった。

平成26年度農林水産省補助事業「農作業事故の対面調査事業」に関わる 事例検討会出席者名簿

日時:平成27年2月5日(木)・6日(金)
場所:JAビル27階 全厚連会議室

団体名	部署	役職	氏名
日本農村医学会	(総合病院土浦協同病院 名誉院長)	名誉理事長	藤原秀臣
日本農村医学会	(岩手大学教授・ 保健管理センター長)	副理事長	立身政信
全国農業機械士協議会		会長	伊藤一栄
日本農業機械化協会		専務理事	松本訓正
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター	基礎技術研究部 安全人間工学研究	主任研究員	志藤博克
日本農村医学会	(滋賀医科大学准教授)	評議員	埤田和史
日本農村医学会	(富山県農村医学研究所 主任研究員)	評議員	大浦栄次
日本農村医学会	(日本農村医学研究所 客員研究員)	評議員	浅沼信治
日本農村医学会	鹿児島産業保健総合支援センター	所長	草野健
日本農業機械化協会		指導部長	森田豊
農林水産省	生産局農産部技術普及課 生産資材対策室	室長	松岡謙二
農林水産省	生産局農産部技術普及課 生産資材対策室	課長補佐(機械開発・安全 指導班担当)	齊賀大昌
農林水産省	生産局農産部技術普及課 生産資材対策室	機会開発・安全指導班 安全指導係長	江頭知穂
北海道農作業安全運動推進本部		事務局長	舘山則義
福島県農業協同組合中央会	農業対策部農業振興課	課長補佐	小原稔
福島県農業協同組合中央会	農業対策部農業振興課	副調査役	渡邊範之
栃木県農業機械士会		顧問	小田林徳次
栃木県農業機械士会		副会長	綱川欣典
栃木県農業機械士会		幹事	國安武
千葉県農業機械士協議会		会長	小川雅器
千葉県農業機械士協議会		副会長	相京猛
千葉県農林水産部	生産振興課農産班	主事	仲田凌
日本農村医学会	日本農村医学研究所	主任研究員	柳澤和也
JA えちご上越	営農生活部 農業経営サポートセンター		清水薫
富山県農村医学研究会	(富山県厚生連 健康管理センター)	研究員	吉田稔
兵庫県農業機械化協会		参事	松本功
広島県農業協同組合中央会	農政営農部担い手支援課	調査役	東田にんな
(事務局)日本農村医学会		事務局長	常松敦子

※全体結果検討会終了後、引き続き全体検討会を開催し、全員が全体検討会にも出席した。

(4) 報告書とりまとめ、改善提案打合せ会議

平成27年2月開催の全体検討会を受けて、全体検討会のメンバーで補助事業受託者である日本農村医学会のメンバーが中心となり、特に4年間の対面調査の結果を受けての、事故防止のための改善提案の基本的課題について検討した。また、DVD、パンフレット、リーフレットの作成についても基本的考え方について検討した。

- ・開催日時：平成27年3月13日（金） 9：00～17：00
- ・開催場所：東京・JAビル27階 「JA全厚連会議室」

1. 協議事項

- (1) パンフレット、DVDの構成について
- (2) 改善提案について

2. 出席者

日本農村医学会名誉理事長	
総合病院土浦協同病院名誉院長	藤原秀臣
日本農村医学会 副理事長	
岩手大学教授・保健管理センター長	立身政信
岩手大学農学部教授	武田純一
滋賀医科大学准教授	埴田和史
日本農村医学研究所客員研究員	浅沼信治
富山県農村医学研究所主任研究員	大浦栄次

①パンフレットについて

- ・約50ページのこの一冊を見れば、農作業事故基本的な事項、および留意点のポイントが分かる物とする、報告書本体に入れる。
 - *特に、今回の対面調査事例を中心に解説と安全対策の提案、営農組織での学習会や農作業安全推進の中心的な方々が対象

②リーフレット

- ・各作業現場で、作業前に安全確認ができるようなもの
 - *二つ折り程度のもの、とりあえず、一般農機のトラクター、草刈機、コンバイン、耕耘機、用具・手具の事故、営農組織が取り組むべき安衛法に基づく農作業安全、緊急時の対応の7種類とする。

③DVD

- ・パンフレット、リーフレットの題材を元に作成。

④各種改善提案

- *基本的事項（次ページ以降）を元に、さらに詳細な改善提案を行う。

⑤報告書

- *4年間の総括的な報告書とする。パンフレット、リーフレットも一緒に入れる。